

D 類 (公共サイン)

特 別 賞

道路交通規制及び指示標識

警察庁交通局交通企画課

小 栗 令 行

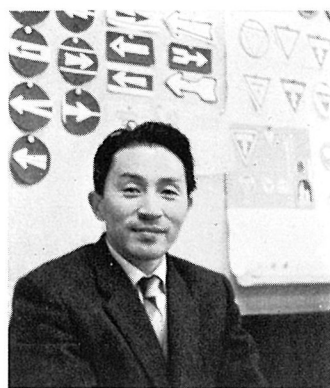
Category D.....Public signs

Special Prize

Signs for traffic control and information

Traffic Planning Section, Traffic Bureau,
National Police Agency

OGURI yoshiyuki



小 栗 令 行 OGURI yoshiyuki

現行道路交通標識デザインの変遷について

私が道路交通標識デザインの改正時に推進して来た信念は、現在ヨーロッパ系と米大陸系の二大主流により統一の困難な国連標識体系において、その両大陸の中間に位置する日本として、その何れにもとらわれることなく、形状心理学的に論理的な外郭形状の順位分類法を打出し、将来の国連標識のあり方を示唆しようという誠に大きな野望を抱いていたことである。その結果、危険を現わす標識は三角形、注意を現わす標識は菱形位置の正方形、約束事を現わす標識に円形、方向や指示を現わす標語は長方形、の四基礎形に定着し、それらの要求を兼ね備えたものの場合では上記基礎形の合成体を形成することにより、外郭形状を見ただけで標識の大きな意志伝達の

行なえる、便利な標識体系を完成することが出来た。しかしながら、昭和38年の標識大改正に際し、もし第一級の危険度を現わす一時停止標識に私の提唱した三角形が使用されず、ヨーロッパ系の円形標識または米国系の八角形標識が残存していたとしたら、形状心理学的に論理明快な今日の標識体系は決して完成し得なかったであろうことを特筆して置きたい。尚各標識板上の記号をデザインする上で特に留意したことは、傾斜遠視時における記号の弁別性確保の手段として、スペースの配分により注視点を形成し、あらゆる状況下において絶対に見間違ふことのない、使用者側本位の標識デザインとした点である。

(小栗記)

- 1921年 東京に生れる。
- 1942年 東京美術学校油絵科卒業。
- 1957年 警視庁交通部技術第2課指導。
- 1959年 新電柱標識を設計す。
- 1960年 日本道路協会道路標識委員会委員。
- 1961年 新道路交通法施行に際し、新標識の追加および全道路標識の実物大原図、設計図を作成し、道路標識デザインの全国統一を行なう。
- 1963年 東京陸運局踏切標識委員会委員。
- 1963年 警察庁交通局における交通標識全面改正に際し、専門委員として標識体系を現行のものへ誘導評論しつつ、全道路交通規制標識および指示標識の試作、同実物大原図、同原図設計図を作成し、標識デザインの全国統一を行なう。
- 1964年 小栗の発明した交通信号装置は、日本放送協会、発明協会主催の発明展において発明奨励賞を受賞す。

